

学校教育目標

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」
～発信力・行動力を身につけ、
自己肯定感を得られる生徒の育成～

「ありがとう」の数

皆さんは、「ありがとう」を言っていますか？皆さんをこの世でいちばん大切思い、見守ってくださる家族に。優しくしてくれた友だちに。厳しくもあり、温かく接してくれる先生に。私たちの暮らしの中には、いろいろな場面で、「ありがとう」を言う機会があります。でも、どこか恥ずかしかったり、照れくさかったりして、なかなか素直に言えていないのではないでしょうか。

この地球上で、言葉を自由に使えるのは私たち人間だけです。

動物たちの間にも、その動物にしかわからない言葉やコミュニケーションをとる手段があるのかもしれません、それでも、これだけいろいろな感情を表現し、複雑な言葉を使えるのは、人間だけでしょう。その、いろいろな言葉の中で、「ありがとう」という言葉は、相手に感謝の気持ちを伝えるもっともすばらしい言葉の一つだと思います。「ありがとう」の言葉を掛けられると、言われた人は、「してあげて良かった。またしてあげよう。」という気持ちがわいてきます。そして、言われた人だけではなく、「ありがとう」を言った人も、心がポカポカしてくるのです。そして、言った人も言われた人も、他の人にもまた「ありがとう」を伝えたくなるのです。「ありがとう」大切にしたい言葉です。

読んだ本の中にあった詩（言葉）を紹介します。



「ありがとう」と言われなくても
「ありがとう」と言う人になればいい
自分から何もしないで
与えてもらうことばかり考えない
自分から与えなければ何もやって来ない
感謝できないのではなく
感謝しないだけ
相手が喜ぶことは
何回でも何人でも伝えればいい
いつの間にかあなたも
感謝される人になっている
「ありがとう」の数だけ人生は豊かになる

3年生のみなさんへ コロナ禍の中、多くの行事や取組が延期や中止になり、自分たちの成長や力を発揮する機会が失われました。しかし、不平不満を言うこともなく、腐ることもなく、常に前を向いて、自分たちのやるべきことをやり、後輩たちに、目標となる姿を示してくれました。ありがとう。中学校生活も残り3か月、最後まで、自分の可能性を信じて、今よりも高いハードルを自分に課して、その目標を未来の一点で達成すべく全力を傾けてください。その時に必要なのは常に「思い」の火を絶やさないで燃やし続けるということです。一見無理だと思える高い目標にもひるまず情熱を傾け、ひたむきな努力を惜しまない。そのことが、私たちの能力をびっくりさせるほど伸長させ、また眠っていた潜在能力を開花させるのです。3年生の皆さん、自分の将来の夢や目標に向かって、今、踏ん張るとき。「やりたいことが見つからない」「なりたい自分がわからない」といった言い訳はいりません。なりふり構わずやる、がむしゃらにやる。